

魚、人、自然に優しい養殖
(株)タイチ

美しい海の豊かな恵みを 未来へ残したい



(株)タイチは、代表取締役の徳弘多一郎さんが2代目としてマダイ養殖業を営んでいます。1959年に父の吉久さんが真珠養殖業として創業し、1973年にマダイ養殖業へ転換して以来、石油由来の餌を極力使用せず、合成色素や酸化防止剤を排除するなど、魚はもちろん、消費者の健康と自然環境にも優しい養殖を進めてきたそうです。そうして育てた養殖鯛「鯛一郎くん」は養殖とは思えない美味しさと好評です。

また、近年深刻化している海洋ごみの問題に対して、海への恩返しと美しい自然環境を守るため、2021年から社員全員で海の清掃活動を実施しています。さらに、この取り組みを広く知ってもらい、より多くの人に参加してほしいという思いから、活動を紹介する動画を制作しました。この動画は2023年に環境省の「環境教育・ESD実践動画100選」に選定されています。

多一郎さんは「これからも消費者や自然環境に真摯しんしに向き合いながら、愛情のこもった美味しいマダイを育てていきたい。そして、海からの豊かな恵みとふるさとの美しい自然を未来に継承していきたい」と語ってくれました。